

●学習教育目標と科目の関連性(平成30年度入学生用)

学習・教育目標		対応カリキュラム	対応するJABEE基準		1年	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	評価基準	備考
(A) 農業土木技術者としての教養を身につける。	(A)-1 地球規模で活躍する農業土木技術者として必要な人文・社会科学的な知識と思考能力を身につける。	共通教育教養科目 学部共通科目 学科共通科目	(a)地球の視点から多面的に物事を考える能力とその素養		基礎科目「日本語リテラシー」(1、必修) 基礎科目「社会力入門」(1、必修) 基礎科目「環境学」(1、必修) 主題探究型科目【人文・社会学に関する科目】(4以上、必修) 学間分野別科目【人文学分野、社会科学分野】(7以上、必修) 教養科目「初修外国語」		高年次教養科目【文系主題科目】(2)					左の科目から10単位以上取得すること	必修23単位＋青字から87単位で○
	(A)-2 自然科学分野で活躍する農業土木技術者として、数学、自然科学、情報技術に関する知識とその応用能力を身につける。		(c)数学及び自然科学に関する知識とそれらに応用する能力		基礎科目「情報リテラシー」(2、必修) 主題探究型科目【自然科学分野】(4以上、必修) 学間分野別科目【総合分野、自然科学分野】(7以上、必修) 基礎科目「数学(解析学入門)」(2、必修) 学部共通科目「統計学入門」(2、必修) 学部共通科目「物理学」「化学」「生物学」「地学」(8、うち6選必)		高年次教養科目【理系主題科目】(2)					左の科目から18単位以上取得すること	必修12単位＋青字から6単位で○
(B) 農業土木技術者としての基礎(能)力を身につける。	(B)-1 農業土木技術者として、社会に対する責任感を自覚する。(技術者倫理)	学部共通科目 専門科目	(b)技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解			学部共通科目「技術者の初歩」(2、必修)		工学部「企業倫理」(2、必修、集中)	土木事業における関連法令(2)	土木材料及び施工法(2)		左の科目から6単位以上取得すること	旧カリ通り
	(B)-2 農業及び農業土木分野を取り巻く幅広い知識と技術を修得する。	学部共通科目 学科共通科目 専門科目(講義)	(d)(1)応用数学、物理学、化学または生物学および農業・環境関連科目を共通分野とし、これらの共通分野を習得させる。		学部共通科目「現代農業論」(2、必修) 学部共通科目「地域環境工学概論」(2、必修) 学科共通科目「森林資源学概論」(2、必修) 学部共通科目「地域環境保全学概論」(2、必修) 初年次科目「新入生セミナーB」(2、必修) 学部共通科目「農業実習ⅠE・F」(1、必修)	学科共通科目「水環境学」(2) 学科共通科目「現代遺伝学」(2) 森林生態学(他コース科目：2)	応用数学(2、必修) パソコン演習(2) 学部共通科目「環境分子生物学」(2) 学部共通科目「現代農林水産学」(1) 生態系保全学(他コース科目：2)	学科共通科目「環境生態毒性学」(2) 学科共通科目「水環境先端分析学」(2) 学科共通科目「特別講義」(2)	学科共通科目「特別講義」(2) 森林資源計測学(他コース科目：2) 学科共通科目「特別講義」(2)	学科共通科目「環境基礎生態学」(2) 学科共通科目「海洋環境学」(2) 学科共通科目「特別講義」(2)	学科共通科目「特別講義」(2)	左の科目から18単位以上取得すること	必修13単位＋下線科6単位で○ (1単位オーバー)
(C) 農業土木技術者としての専門知識と技術を身につける。	(C)-1 日本有数の少雨・地すべり地帯である愛媛県において必要不可欠な水利施設の設計・維持・管理と防災に関する知識と技術を修得する。	学科共通科目 専門科目(講義) 2年次＝基礎 3～4年次＝発展				構造力学Ⅰ(2、必修)	構造力学Ⅱ(2、必修) 土質力学(2、必修)	学科共通科目「地域防災学」(2) 地盤工学(2、必修)	水利施設工学(2)	土木材料及び施工法(2)		左の科目から10単位以上取得すること	必修8単位＋2単位
	(C)-2 水文循環の視点から瀬戸内地域等の少雨地域における水資源管理と水環境保全に関する知識と技術を修得する。		(d)(2)農業土木プログラム：土、水、基盤、環境の各々に関する分野を農業土木学の主要分野とし、土、水、基盤の3分野、あるいは土、水、環境の3分野のいずれかについての知識・能力を習得させる。			水理学Ⅰ(2、必修) 学科共通科目「生物環境気象学」(2)	水理学Ⅱ(2、必修) 水文学(2、必修)	農地水循環論(2)	環境水資源工学(2)			左の科目から10単位以上取得すること	必修6単位＋4単位
	(C)-3 中山間地域等における農村資源の持続的な利用・管理を行うための環境整備・計画に関する知識と技術を修得する。					土壌物理学(2、必修) 学科共通科目「環境土壌学」(2)	農村計画学Ⅰ(2、必修) 測量学(2、必修)	農村計画学Ⅱ(2、必修) 応用測量学(2、必修)	地域環境整備学(2、必修)	農村環境設計学(2)		左の科目から12単位以上取得すること	必修科目12単位で○
(D) 農業土木技術者としてのデザイン能力を身につける。 参考：デザイン能力とは、必要な情報を収集して解析し・考察し、適切な結果を導き、これを論理的に説明できる能力である。	(D)-1 実験または調査を科学的に解析・考察する能力を身につける。	学科共通科目 専門科目(実験・演習)	(e)種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	(d)(3)農業工学関連教育プログラムの各系プログラムにおける主要分野のうち1分野以上において実験または調査を単独あるいはチームで計画・遂行し、データを正確に解析・考察し、かつ説明する能力		土壌物理性実験(1、必修)	測量学実習(1、必修) 土質・材料実験(1、必修)	応用測量学実習(1、必修) 水環境実験(1、必修)	地域設計・計画演習(2、必修)			左の科目をすべて「良」以上で取得すること	旧カリ通り
	(D)-2 企業や公共団体での実習を通して、実務上の問題点と課題を理解し、与えられた制約条件の下で、計画的に仕事をまとめる能力を身につける。			(d)(5)実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する基礎的能力		地域環境工学現地実習(1、必修)	学科共通科目「インターンシップ」(2、必修)				左の科目をすべて「良」以上で取得すること	旧カリ通り	
	(D)-3 課題解決のためのプロセスを構築し、自主的、継続的に学習する能力を身につける。			(h)与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力 (D)-3は対応しない	(g)自主的、継続的に学習する能力		地域環境工学キャリアデザイン(1、必修)			地域環境工学演習(2、必修) 卒業論文(6、必修)		左の科目をすべて「良」以上で取得すること	旧カリ通り
	(D)-4 修得した知識・技術と情報を駆使して、農業土木分野に関わる問題を課題化し、解決する能力を身につける。			(d)(4)農業工学関連分野教育プログラムの共通分野と各系プログラムにおける主要分野科目の履修により、農業工学関連分野の専門的な知識、技術を駆使して、課題を追求し、組み立て、解決する能力					地域環境工学演習(2、必修) 卒業論文(6、必修)		左の科目すべてを「優」以上で取得すること	旧カリ通り	
(E) 農業土木技術者としてのコミュニケーション能力を身につける。	(E)-1 日本語による論理的な記述、発表、討議に関するコミュニケーション能力を身につける。	4年間での継続学習	(f)論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力	(e)種々の科学・技術・情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	初年次科目「新入生セミナーA」(2、必修)			学科共通科目「インターンシップ」(2、必修)	地域設計・計画演習(2、必修)	地域環境工学演習(2、必修) 卒業論文(6、必修)		左の科目すべてを取得すること	旧カリ通り
	(E)-2 国際的に適用するコミュニケーション基礎能力を身につける。			初修外国語 英語(4、必修)				外書講読(2、必修)	地域環境工学技術英語(2)		左の科目から8単位以上取得すること	必修で6単位 ＋地域環境工学技術英語2単位	
(F) 農業土木技術者としてチームで仕事をするための能力を身につける。		専門科目(実験・演習)	(i)チームで仕事をするための能力			土壌物理性実験(1、必修)	測量学実習(1、必修) 土質・材料実験(1、必修)	応用測量学実習(1、必修) 水環境実験(1、必修)	地域設計・計画演習(2、必修)			左の科目をすべて「良」以上で取得すること	H29より新規 (JABEE新基準への対応)